論理国語　単元指導計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 令和〇年〇月〇〇日（〇） | 場所 | ２年○組教室 |
| クラス | ２年〇組　〇系列　（４人） | 授業者 | ○○　○○ |
| 科目名 | 論理国語 | 単元名 | 事例の意味を探るために |
| 使用教材 | 「女性／男性だから〇〇」（瀬地山　角） | 使用教科書 | 新　論理国語　三省堂 |
| 教材観 | 本教材は、多様化が進む現代社会においてのテーマである「ジェンダー」を扱った評論である。資料を手がかりに推論を働かせながら筆者の思考過程を検証し、どこに筆者の主張を支える根拠があるのかを読み解いていく。「男女の平等」という言葉は耳にするが、筆者の考える「異質平等論」とは何か。また、生活の中で無意識のうちに「性差別」をしていないかということを自分に置き換えながら学習することで、より深い学びが得られる教材である。 |
| 生徒観 | 進学希望者の4名を対象にしたクラスである。活発に意見を発表する姿が見られ、意欲的に授業を受けている。発問に対し4名すべてが発表できる十分な時間があるため、それぞれの意見を授業に反映し、考えるきっかけとすることができる。和気藹々とした雰囲気で自分の意見を発表することが個々の自信につながっているように思われる。 |
| 指導観 | 本単元は３つの教材があり、その中の２つを学習した。本教材の前に、同じジェンダーを扱った「多様な視点から考える」（前田健太郎）の評論を学習しており、この教材でも具体例の役割や意味を考えることを通して、筆者の主張の根拠を探った。同じテーマの評論を続けて学ぶことで、事例の使い方やそれらを提示した意味について、既習した内容をもとに考えを深め、広げることができる。また、筆者の主張である「本当の自由は異質平等論を明確に否定しなくては得られない」という考えに対し、個々が持っている「性別」に対する考え方、世の中の流れ、実際の事例等も交え、今後の社会に必要な多様な視点を持たせたい。 |

１　単元の目標

1. 推論の仕方について理解を深め使うことができる。　　　　　　　　　　　　　　〔知識及び技能〕(２)ウ
2. 設定した題材に関する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〔思考力、判断力、表現力等〕B(１)キ

(３)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　「学びに向かう力、人間性等」

２　単元の言語活動

　本文や引用されている資料などから筆者の主張を検証し、筆者の主張を踏まえて、「男女の平等」や「性別からの自由」などについて、自分の考えを論述する。

（関連：〔思考力、判断力、表現力等〕B(２)エ）

３　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 1. 推論の仕方について理解を深め使おうとしている。

　　　　　((２)ウ) | 1. 設定した題材に関する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関連付けて自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。　　　　　(B(1)キ)
 | 1. 本文や引用されている資料などから筆者の主張を検証し、粘り強く考えを広げたり深めたりする中で、自らの学習を調整しようとしている。
 |

４　指導と評価の計画（全４時間）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | 主たる学習活動 | 評価する内容 | 評価方法 |
| １ | ・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。※振り返りシートの記入（導入・初読の感想） | 〔知識・技能〕① | 「記述の点検」 |
| ２ | ・第1、２段落の読解 | 〔知識・技能〕① | 「記述の分析」 |
| ３（本時） | ・筆者の主張を資料と関連付けてまとめる。・「男女の平等」「性別からの自由」という言葉について整理し、筆者の考える「自由」とはどのようなものかをまとめ、発表する。※振り返りシートの記入（筆者の主張） | 〔思考・判断・表現〕① | 「記述の分析」 |
| ４ | ・筆者の主張に対する自分の考えを論述する。※振り返りシートの記入（学習後の感想、自己評価） | 〔主体的に学習に取り組む態度〕①〔思考・判断・表現〕① | 「記述の分析」 |

【単元の流れ】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準・評価方法等 |
| １ | 〇単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。・「女性／男性だから〇〇」という題名から想起することを書きだし交流する。　※振り返りシート・範読し、初読の感想と疑問点を書きだし交流する。　※振り返りシート・語句調べをし、読解の準備をする。 | ・前回の教材の内容（『多様な視点から考える』）や、「男性らしさ、女性らしさ」という言葉を聞いてどう思うか問いかける。発表の際は、そのように考えた理由も答えさせる。 | 〔知識・技能〕①「記述の点検」振り返りシートの記載内容を点検する。 |
| ２ | ○文章の構成を確認する。〇問題提起を確認する。・第１段落「性役割分業について」　資料…憲法十四条　　　　男女共同参画社会基本法・第２段落「異質平等論の問題について」　資料…OECD生徒の学習到達度調査PISA・授業プリントにまとめた内容を発表する。〇筆者の指摘する「異質平等論」の問題点を整理し、発表する。〈学習活動１〉 | ・二段落構成であること、それぞれの段落における提示された資料を手がかりに、筆者の思考過程をまとめさせる。・提示された資料が筆者の思考の裏付けになっていることを捉えさせる。・具体例が適切であることを確認させる。 | 〔知識・技能〕①「記述の点検」授業プリントの記載内容を点検する。〔知識・技能〕①「記述の点検」授業プリントの記載内容を点検する。 |
| ３（本時） | 〇筆者の主張を資料と関連付けてまとめる。・「男女の平等」「性別からの自由」という言葉について整理し、筆者の考える「自由」とはどのようなものかをまとめ、発表する。〈学習活動２〉 | ・筆者の考える「自由」を考えるために、「男女の平等」と「性別からの自由」について、段階的に問いを設定し、それを手がかりにまとめさせる。 | 〔思考・判断・表現〕①「記述の分析」　授業プリントの記載内容を分析する。 |
| ４ | 〇学習後の自分の考えをまとめる。・筆者の主張を踏まえて、自分の考えをまとめ交流する。・論述の自己評価をする。・学習後の感想を書き、発表する。　※振り返りシート・目標の達成度を自己評価する。　※振り返りシート | ・筆者の主張を踏まえ、自分の言葉で考えを説明することができるように促す。・交流を通し、仲間の意見を取り入れたり、考えを深めたりする。・印象に残ったことや新たな気づきなどを書くとよいことを伝える。 | 〔思考・判断・表現〕①「記述の分析」・本文を通して学んだ構成、知識を用いた内容になっているか、論述を分析する。〔主体的に学習に取り組む態度〕①「記述の分析」振り返りシート・振り返りシートの内容から、自身の学習を調整しながら相手に伝わるように、説明の仕方や表現の仕方を工夫できたか分析する。 |

≪本授業における評価の実際≫

５　観点別学習状況の評価の進め方

(1)［知識・技能］の評価

[知識・技能]①の「推論の仕方について理解を深め使っている」状況を、「提示された資料を正確に読み取り、筆者の思考の裏付けになっていることを捉えている」姿（「おおむね満足できる」状況(B)）と捉え、授業プリントへの書き込みを点検して評価する。

筆者の思考の裏付けになっていることを捉えられない状況をCと捉え、個別に声をかけて、資料の見方やヒントとなる本文の記述を示すなどし、読み取りを行うよう促す。

(2)［思考・判断・表現］の評価

[思考・判断・表現]①の「設定した題材に関する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関連付けて自分の考えを広げたり深めたりしている」状況を、「本文の言葉を用いたり、資料を引用したりすることで筆者の主張をまとめている」姿（「おおむね満足できる状況」(B)）と捉え、授業プリントの記述を分析し評価する。

本文の言葉を用いたり、資料を引用したりすることで筆者の主張をまとめられない状況をCと捉え、本文の言葉や既習した内容をもとにまとめるよう促す。

(3)［主体的に学習に取り組む態度］の評価

[主体的に学習に取り組む態度]①の「本文や引用されている資料などから筆者の主張を検証し考えを広げたり深めたりして、自らの学習を調整しようとしている」状況を、「読解を通して理解した筆者の主張を踏まえて、自身の考えを知識や技能を活用して論述している」姿（「おおむね満足できる」状況(B)）と捉え、論述や振り返りシートの記述、自己評価を分析し評価する。

本単元を基にした気づきや学びがまとめられず、努力を要すると判断する状況をCと捉え、振り返りシートの評価項目を参考に、単元を通して気づきや学びがどこかにないか探るよう促す。

参考：振り返りシートの活用法

　　振り返りシートの構成は以下の通りである。

①単元目標

②導入

③初読の感想、疑問

④筆者の主張

⑤学習後の感想、疑問点の解消

⑥目標の達成度

　　　項目に日付を記録することにより、学習の軌跡が一枚のプリントで分かるように構成してある。そして、読解後に取り組む３００字の論述内容とともに、主体性を評価できないかと考案した。生徒は学習の流れを一枚で確認でき、教員側は生徒の考えの変化や深まりを分析することができる。さらに、論述を加えることにより筆者の主張をまとめ直したり、それを根拠に自分の考えを述べたりすることで、学習したことを生徒自身の中で整理し直すことができ、学習を自ら調整するという主体性にもつながる。

　　　主体性の評価を振り返りシートのみでできないかと考えたが、考えの広がりや深まりを見るにはやはり文章を書かなければ分からない。書いたものをもとに自己評価し、主体性の評価につなげることは可能なのではないかと思い実践に至った。2年生の論理国語では、「振り返りシート」＋「論述」という一つの型を繰り返し行った。３００字という設定に対して、何度か繰り返すことで書くことへの抵抗感も少なくなり、構成の仕方も次第に上達していった。メリットも大きいが、人数が増えれば増えるほど添削指導等の負担が大きくなることが最大のデメリットである。

６　学習指導案(４時間目/全５時間)

本時の目標：ア　「男女の平等」「性別からの自由」という言葉について、本文や資料をもとにまとめることができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【思考力・判断力・表現力等】

言語活動：関連する資料をもとに、本文の言葉を使って筆者の主張をまとめ交流する。

本時の展開：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点・評価 |
| 導入５分 | □本時の課題の確認□前時までの内容の確認 | ・本時の課題を確認する。・前時までに学習した内容を振り返る。 | ・前時の授業プリントを返却する。 |
| 展開①２０分 | □「男女の平等」「性別からの自由」という言葉について整理する。□発表する。 | ・第２段落の音読をする。・与えられた課題に沿って、本文をもとに整理する。・各自まとめたものを発表し分析する。 | ・本文にどのように述べてあるかヒントとなる箇所を指摘し、それを手がかりにまとめさせる。 |
| 展開②２０分 | □学習活動２　筆者の考える「自由」とはどのようなものかをまとめる。□発表する。 | ・まとめた内容をもとに、筆者の主張をまとめる。・各自まとめたものを発表し分析する。 | 【目標アに対する評価規準と評価方法】規準：筆者の思考過程が、提示された資料をもとに展開されていることを理解している。方法：「記述の分析」（授業プリント、机間指導）〔目標ア達成のための手立て〕・本文にどのように述べてあるかヒントとなる箇所を指摘し、それを手がかりにまとめさせる。 |
| まとめ５分 | □授業の振り返り | ・筆者の言葉の捉え方、考え方、それに基づいた筆者の主張を捉えることができたかを確認する。・次回の授業内容を伝える。 | ・次回は、筆者の主張に対する自分の考えを３００字でまとめることを伝える。まとめた考えを交流し自己評価を行うことを伝える。 |